FINOWA ¦ 税務・会計

会計1科目合格者の 大学院戦略 2027

「残り会計1科目」と「税法3科目」を、試験・大学院・仕事の総負担で設計する

2027 EDITION

今回の更新

2026年10月7日時点のFINOWA大学院比較DB・2027募集情報・現行Toolsを基準に再構成。旧版の作成基準日（2026年5月）から変わった箇所を更新しています。

この資料は進路判断の補助資料です。入学可否、研究認定、科目免除を保証するものではありません。

1. 結論：基本は税法2科目免除を優先

基本方針

簿記論・財務諸表論のどちらか1科目だけ合格済みでも、免除効果の大きい「税法2科目免除」を基本線にします。残り会計1科目は試験で取る設計が第一候補。

- **税法研究による免除は最大2科目。会計研究による免除は最大1科目。**
- **会計免除を使っても税法3科目の問題は残るため、総年数で比較する。**
- **残り会計1科目に長期停滞、計算/理論の相性、仕事負荷などがある場合は会計免除を安全網として比較。**
- **同じ学位・同じ論文で税法と会計の両方を当然に免除できるとは考えない。大学ごとに確認する。**

2. 4つの判断ルート

ルート	向いている状態	完成形	注意
A 税法免除優先	残り会計1科目を1-2年で取れそう	会計残1を試験＋税法1合格＋税法2免除	最も標準的
B 会計免除も比較	残り会計1科目が3年以上停滞	会計1免除＋税法3科目を別途設計	総年数を必ず比較
C 両分野対応校を選ぶ	今後の見通しが不確実	入学前に税法/会計の両研究体制を比較	同時免除とは限らない
D 試験継続優先	大学院の時間/費用負担が大きい	残り4科目を試験で積み上げ	仕事との両立を検討

3. 現行DBでは「税法17ルート / 会計12ルート」が診断対象

FINOWAの2026-10-07時点DBは34ルートを管理し、29ルートを候補診断対象、5ルートを対象外にしています。

分野	診断対象	主な候補	対象外の扱い
税法	17ルート	青学、明治、中央、大原、専修、東洋、亜細亜、日本、拓殖、駒澤、関西、立命館、神戸学院、開志創造	CUC税務、関学租税法論文指導、法政を対象外
会計学	12ルート	青学、明治、大原、専修、東洋、日本、拓殖、関西、神戸学院、開志創造	CUC会計、関学財務会計論文指導を対象外

4. 会計1科目合格者の判断フロー

段階	判断
STEP 1	残り会計1科目をあと1-2年で取れる見込みがあるか
YES	税法免除優先。税法1科目＋税法研究の候補校を絞る
NO/不明	会計免除12ルートも同時に比較する
STEP 2	仕事との両立でオンライン/夜間が必須か
YES	開志創造◎、明治MBAハイブリッド等から適合条件を確認
STEP 3	指導体制の確度が低い/確認中ではないか
YES	候補診断対象外・条件付きルートは大学へ直接確認
STEP 4	総年数・総費用で税法免除優先と会計免除を比較し決定

5. 働きながら選ぶなら「オンライン」の意味を分ける

学校例	社会人適合	オンライン表示	読み方
開志創造大学大学院	◎	◎	授業/研究指導の具体運用を確認
明治大学 MBA	◎	ハイブリッド中心	出願前に対面頻度と研究指導を確認
青山学院大学	○/◎	補助のみ	オンライン完結ではない前提で通学を試算
明治大学 会計専門職	○	講義一部メディア/研究指導対面	授業と論文指導を分けて判断
関西/神戸学院等	×	×	通学負荷を許容できる場合に比較

6. 2026-10-07時点の出願タイミング

学校	分野	締切/受付	戦略上の意味
明治大学 MBA	税法/会計	2026/10/2-10/13	今出す/次回に備える
開志創造大学大学院	税法/会計	2026/10/5-10/30	今出す/次回に備える
千葉商科大学	税法/会計	2026/10/15-10/29	今出す/次回に備える
大原大学院大学	税法/会計	2026/10/28-11/6	今出す/次回に備える
青山学院大学 会計監査	会計	2026/11/6-11/10	今出す/次回に備える
明治大学 会計専門職	税法/会計	2026/11/9-11/13（II期）	今出す/次回に備える
中央大学	税法	2026/11/23-11/27	今出す/次回に備える
拓殖大学	税法/会計	郵送 11/30-12/10 / 窓口 12/11	今出す/次回に備える
立命館大学	税法	2026/12/3-12/17	今出す/次回に備える
関西大学	税法/会計	2026/12/18-2027/1/8	今出す/次回に備える

1月出願の大学も、研究計画書・証明書は秋から準備。締切直前に学校選びを始めない。

7. 対象外5ルートをどう扱うか

ルート	理由	判断
千葉商科大学 税務/会計	指導体制を2027年度として確認中	比較掲載は継続するが診断対象外
関西学院大学 税法/会計論文指導	2027春の論文指導受付は2026/9/24で締切	通常入試は継続。論文指導ルートは次年度募集で再判定
法政大学 税法関連	公式注意事項との整合確認が必要	掲載保留・非表示・診断対象外

重要

「対象外」は学校の良し悪しではありません。2027年度としてFINOWAが診断ロジックへ入れるだけの確認が揃っていない、または当年度の論文指導受付が締切済み、という意味です。

8. 税法免除優先と会計免除の比較シート

比較軸	税法免除優先	会計免除も利用	自分のメモ
免除効果	税法2科目	会計1科目	
別途必要な試験	残り会計1＋税法1	税法3科目	
大学院の研究分野	税法	会計学	
向く状態	会計残1に見込み	会計残1が長期停滞	
総年数	個別計算	個別計算	
総費用	個別計算	個別計算	
仕事との両立	候補校次第	候補校次第	

9. 代表的な失敗パターン

- 残り会計1科目がつらいという理由だけで、税法3科目が残ることを無視して会計免除へ進む。
- 「両対応校」を、1つの学位で税法・会計の両方を同時免除できる意味だと誤解する。
- オンライン授業があることを、論文指導もオンライン完結できると解釈する。
- 学校名だけで選び、指導教員と研究テーマの適合を確認しない。
- 出願締切だけ見て、事前相談・証明書取得・研究計画書の準備期間を落とす。

10. 30日で決める実行プラン

☐ Day 1-3：残り会計1科目の過去2年の学習時間・成績・ボトルネックを数字で整理
☐ Day 4-7：税法免除17ルートを社会人適合・オンライン・地域で3-6候補へ絞る
☐ Day 8-14：研究テーマ候補3案と指導教員候補を作る
☐ Day 15-20：説明会/個別相談で論文指導・出願条件を確認
☐ Day 21-25：会計免除12ルートを安全網として比較
☐ Day 26-30：総年数・総費用・仕事負荷で最終ルートを決定

11. 最終判断シート

項目	税法免除案	会計免除案	判断
候補校			
残り試験科目			
想定年数			
大学院総費用			
週の学習/通学時間			
研究テーマ適合			
仕事との両立			
最終結論			

FINOWAで次の判断へ

PDFは「考えるための整理」、Webは「最新情報の確認」と「条件で絞る」ために使い分けます。

	大学院比較2027 最新34ルートを確認		候補診断 条件から候補を絞る

主要な一次情報

機関	公式確認先
国税庁 税理士試験	公式ページ
青山学院大学 GSPA	公式ページ
明治大学 MBA	公式ページ
明治大学 会計専門職研究科	公式ページ
中央大学 大学院入試	公式ページ
大原大学院大学	公式ページ
千葉商科大学 大学院	公式ページ
専修大学 大学院	公式ページ

全大学の公式リンクは FINOWA大学院比較2027 の更新欄から確認できます。